

平成 22 年 9 月 29 日  
株式会社ネクストジェン

報道関係者 各位

## ネクストジェン、CSK システムズに SIP 相互接続サーバー「NX-E1010」を提供 ～Avaya Aura™との連携により、コンタクトセンターのオール IP 化を実現～

株式会社ネクストジェン(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:大西 新二、以下ネクストジェン) は、このたび、株式会社 CSK システムズ(本社:東京都港区、代表取締役社長:中西毅、以下 CSK システムズ)の ASP 型音声基盤サービス「PrimeTiaas®」向けに SIP\*1 相互接続サーバー「NX-E1010」を提供いたしました。

今回の提供は、日本アパイア株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:ロバート・スチーブソン、以下 日本アパイア)の企業向けコミュニケーション・プラットフォーム「Avaya Aura™」との連携により、コンタクトセンターのオール IP 化を実現するキーデバイスとして採用が決まったものです。

日本アパイアの「Avaya Aura™」は、ユニファイドコミュニケーションおよびコンタクトセンター・ソリューションを実現する企業向けコミュニケーション・プラットフォームです。

CSK システムズでは、PrimeTiaas®のサービス提供基盤に Avaya Aura™を採用し、CSK グループ内のコンタクトセンターやグループ外のお客様向けに音声基盤サービスを提供してきました。しかし、数千チャンネルに及ぶ公衆回線の収容のため、多数の他社製キャリア接続ゲートウェイを設置しており、設備コストや運用管理の面で負担となっていました。また、その公衆回線には一般アナログ回線や ISDN 回線などのレガシー回線が使用されており SIP ベースの統合メッセージングシステムのメリットを最大限に活用できない状況にありました。

これらの課題を解決するため、日本アパイアとの共同提案のもと、Avaya Aura™と VoIP 通信事業者網との接続装置として、ネクストジェンの「NX-E1010」が採用されました。

NX-E1010 は、企業内ネットワーク内の通信機器の SIP/RTP\*2 信号制御を行い、VoIP 通信事業者網への接続\*3 を可能にする SIP 相互接続サーバーです。サーバーの増設により最大 1800 チャンネルまで収容可能なスケーラビリティと、冗長構成や自律的な接続規制による高信頼性を実現しています。

CSK システムズでは、NX-E1010 の導入により下記のような導入効果が見込まれています。

- **コスト削減**  
VoIP 通信事業者の提供する光回線を NX-E1010 に接続したことで、レガシー回線が不要となり、通信料金の削減が可能となります。また、サーバーラックを占有し、設備コストを押し上げる要因となっていたレガシー回線収容用ゲートウェイ装置を NX-E1010 を構成する汎用サーバーに集約することにより、設備コストの大幅な削減や運用管理の負担軽減につながります。
- **オール IP 化によるメッセージング環境の高度化**  
NX-E1010 は、VoIP 通信事業者と Avaya Aura™の SIP メッセージ仕様の差分を吸収し、回線まで含めたオール IP 化を実現します。これにより、SIP/VoIP の高度な機能を活かした多様、かつ高度なメッセージング環境が構築できます。

今回の NX-E1010 の採用にあたり、CSK システムズ、日本アパイアから以下のコメントが寄せられています。

【CSK システムズ 産業システム事業本部 クロスインダストリー事業部

シニアアシスタントマネージャー 坂田陽一郎様】

非常に多くの公衆回線を必要とするコンタクトセンター向け音声基盤サービスにとって、回線収容効率の向上は設備費を圧縮し、価格競争力を強化するための重要な要素です。NX-E1010 の採用により、長年の課題であった回線収容効率の大幅な向上を果たす目処がつけました。

また、従来は公衆回線の増設には物理的な工事を伴うため、ユーザーからの急な要望にこたえるのが難しいという問題がありました。しかしながら、公衆回線のオール IP 化により、物理的な工事を伴わずにチャンネル増を行うことが可能になり、サービス提供速度の大幅な向上が見込めます。

今後は、SIP/VoIP の高度な機能を活用した新しいサービスを開発し、PrimeTiaas®のサービスメニューに加えていきたいと考えております。

【日本アパイア 代表取締役社長 ロバート・スチーブンソン様】

Avaya Aura™は、複数拠点での構築、運用管理コストを低減しながら拡張性を高めることができることが特長です。このたび、ネクストジェン様の NX-E1010 が CSK システムズ様に採用されたことより、PrimeTiaas®の基盤として Avaya Aura™のメリットを最大限ご活用いただけることになったことを大変嬉しく思います。CSK システムズ様のご採用を期に、ネクストジェン様のサポートを得ながら企業のコスト削減と柔軟な拡張性を可能にする Avaya Aura™を国内でさらに拡販していきたいと考えております。

【今後の展開】

ネクストジェンは、アパイア製品と互換性を持つサードパーティ企業の製品の開発、マーケティング、販売を支援する「Developer Connection Program」のゴールドパートナーの認定を受けております。今後も引き続き、Avaya Aura™との連携によるコンタクトセンターのオール IP 化の適用範囲拡大を進め、企業のメッセージング環境の利便性向上に貢献してまいります。

以 上

\*1 SIP (Session Initiation Protocol)

マルチメディアデータを端末間でリアルタイムに双方向通信するための通信制御プロトコル。VoIP、映像配信、インスタントメッセージに用いられるほか、情報家電や携帯端末などの組込み機器への使用が広がっています。

\*2 RTP (Real-time Transport protocol, リアルタイム転送プロトコル)

音声や映像をストリーミング再生するための伝送プロトコル。多くの VoIP 関連製品が、音声伝送のプロトコルとして RTP を採用しています。

\*3 Avaya Aura™と NX-E1010 の連携による VoIP サービスへの接続は、2010 年 9 月現在、KDDI 株式会社「KDDI 光ダイレクト」、NTT コミュニケーションズ株式会社「.Phone Direct (ドットフォンダイレクト)」に対応しております。他の通信事業者の VoIP サービスにつきましても、今後、順次対応する予定です。

【株式会社ネクストジェンについて】

ネクストジェンは、通信システムソフトウェアの開発・運用事業を展開する、SIP/VoIP 技術の国内におけるパイオニア企業です。通信事業者向け大規模 IP セントレックスの構築・導入や IP 電話間の相互接続ソリューションの提供に多数の実績を有するほか、IMS (IP Multimedia Subsystem) 関連製品、M2M (機器間) 通信制御、NGN の拡がりに伴うセキュリティリスクに備えるネットワークセキュリティなど、多数の先駆的なソリューションと関連サービスを提供しています。

【製品・販売に関するお問い合わせ先】

株式会社ネクストジェン 第 2 営業本部

TEL: 03-3234-6855 E-mail: sales@nextgen.co.jp

【プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社ネクストジェン 管理本部 担当: 住田

TEL: 03-3234-6855 E-mail: ir@nextgen.co.jp